

貸借対照表

(令和3年4月30日現在)

株式会社アルクエデュケーション

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	507,784	流動負債	451,149
現金及び預金	129,251	買掛金	41,391
売掛金	201,781	1年内返済予定の長期借入金	9,996
仕掛品	638	未払金※1	137,603
貯蔵品	10,227	未払消費税	6,188
前払費用	40,573	未払法人税等	130
未収入金※1	125,311	未払事業所税	113
固定資産	26,083	未払費用	89,351
有形固定資産	97	前受金	150,119
工具、器具及び備品	97	預り金	16,254
無形固定資産	25,985	固定負債	93,212
ソフトウェア	25,985	親会社長期借入金	90,004
		退職給付引当金	2,619
		その他固定負債	588
		負債合計	544,361
		(純資産の部)	
		株主資本	△10,493
		資本金	10,000
		利益剰余金	△20,493
		当期純損益金額	△20,493
		純資産合計 ※2	△10,493
資産合計	533,867	負債及び純資産合計	533,867

(注)記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております

## 【注記事項】

### (重要な会計方針)

#### 1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

- (1) 仕掛品 …… 個別法
- (2) 貯蔵品 …… 最終原価仕入法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、平成 10 年 4 月以降に取得した建物（建物附属設備を除く。）並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

工具、器具及び備品 3 年

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から 5 年間で均等償却する方法によっております。

##### (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産（ソフトウェアを除く）については定額法を採用しております。

なお、ソフトウェアの減価償却方法は次のとおりです。

・市場販売目的のソフトウェア

見込販売期間（5 年以内）に基づく定額法によっております。

・自社利用目的のソフトウェア

見込利用可能期間（5 年以内）に基づく定額法によっております。

##### (3) リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### 3. 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職金給付債務に基づき計上しております。

#### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### (1) 消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

##### (貸借対照表に関する注記)

※1 未収入金及び未払金につきましては、設立後間もないため株式会社アルクが一時的に入金及び支払の代行を行っているため、金額が多額になっております。

※2 純資産の合計がマイナスとなり債務超過の状況となっておりますが、これは、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の影響もあり、売上を最大限に伸ばすることができず、設立後一か月しか経過していないことや資本金が少額のため影響を受けやすいためであります。